

基本政策 2 様々な危機事案の予防と被害抑制により安全安心なまちで暮らすことができる

【基本政策の方向性】

地震や水害といった災害のほか、武力攻撃事態や様々な市民の危機に対する予防と被害抑制のための対応体制を確立し、より安全安心に暮らせる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「危機事案に対する備えの強化」

様々な危機事案を想定し、国や県の計画に基づいた市の計画等を整備することにより、迅速な対応ができるよう、危機事案に対する備えを強化します。

【数値目標】	現状値		目標値
国・県の計画・指針に対する市の計画の充足率	100% (R2)	⇒	維持 (R7)

基本施策

2-1 危機事案に対する事前準備の推進

様々な危機事案に対応するため、事案ごとに個別の対応マニュアルを作成するなど、事前準備の推進を図ります。

【KPI】	現状値		目標値
危機事案別の個別マニュアル整備割合	—	⇒	100% (R7)

【主な取組】市危機基本管理マニュアルの見直し

時代に即した「市危機管理基本マニュアル」となることを目指し、内容を定期的に点検し、市の体制や情勢等を踏まえ、適時見直しを行います。

【KSF】	現状値		目標値
市危機管理基本マニュアルの点検	—	⇒	実施 (R7)

2-2 市危機管理基本マニュアル等に基づく対策の推進

市の施設の管理や行事等を行う上で発生し得る危機要因を排除するため、計画管理や利用時の安全点検を実施し、訓練や予防対策など市危機管理基本マニュアル等に基づく対策を推進します。

【KPI】	現状値		目標値
想定される危機に対する予防対策の実施割合	100% (R2)	⇒	維持 (R7)

【主な取組】 消防・警察・自衛隊等の関係機関との連携体制の整備

危機事案に備え、関係機関と迅速な対応が図れるよう、平時から消防・警察・自衛隊等と連携した訓練を実施するなど、関係機関との連携体制を整備します。

【KSF】	現状値		目標値
関係機関と連携した訓練実施回数	1 回/年 (R1)	⇒	2 回/年 (R7)

関連する SDG s ゴール



人の命・財産を守るとともに、総合的な危機事案に対するリスク管理を行います。

関連ターゲット (11- b)



様々なパートナーシップを推進し、経験や知識、技術を共有し、危機の軽減に向け協力していきます。 関連ターゲット (17-16、17-17)

関連計画等

富士見市危機管理基本マニュアル

関連部署

総務部 安心安全課